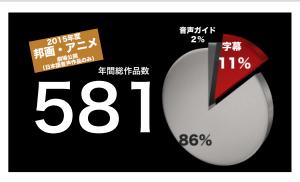


発表者 NPOメディア・アクセス・サポートセンター 川野浩二(かわのこうじ)



昨年実績 字幕:581中66 音声:13(内6実証実験) 字幕付上映は全体の10%程度しかない。音声ガイドは1年間に5、6本程度。 映画館はデジタル化が進み、字幕を入れたデジタルマスター(DCP)があれば、字 幕は、ON、OFF出来る。

つまり、字幕制作をすれば、全国の映画館で字幕付き上映は可能。 しかし、日本語音声の日本語字幕付上映は、未だに、全国主要都市のみ、日時も 限られる。

2020:東京ポリンピ ック・パ ラリンピ ック

2017: パリアフリー放送字幕100% 2016: 障害者差別解消法 施行

2014: 障害者権利条約 批准

2007: 障害者権利条約署名

バリアフリー映画普及に向けた国内の動向

障害者権利条約は2007年に署名。批准までに7年かかった。これは国内法の整備で「障害者差別解消法」施行済。

2014: 障害者権利条約 批准 2016: 障害者差別解消法 施行

映画などの芸術への アクセス保障 障害者権利条約 第三十条 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツへの参加。締約国は、障害者が他の者と平等に文化的な生活に参加する権利を認めるものとし、障害者が次のことを行うことを確保するためのすべての適当な措置をとる。 映画などの芸術へのアクセス保障も含まれる。

## 米国の状況

(未批准 1990年制定ADA法その他)

ADA法 テレビデコーダー法 テレコミュニケーション法 リハビリステーション法 ADA法: 1990年制定 障害を持つアメリカ人法障害による差別を禁止する適用範囲の 広い公民権法の一つ

テレビデコーダー法:米国内で販売される13インチ以上のTVにCC字幕の出る装置装着を

テレコミュニケーション法:米国放送事業者向けCC規定を定める

**リハビリステーション法**:障害者が健常者と変わらぬ情報やデータへのアクセス保障 連邦政府のサービスにおけるアクセシビリティの確保を命じている



ADA法(障害を持つアメリカ人法)

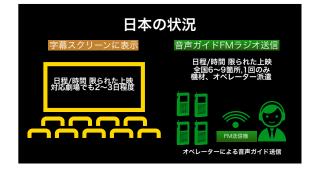
によって、常時字幕の表示されるシステム。アクリル板に字幕を反射させて見る。 300館以上で実施されてきた。国の方針で毎年増加。



アメリカの最新システム

リーガルシネマ ソニー製字幕専用メガネ 6000スクリーンに導入。音声ガイドにも対応。

残念ながら日本語表示に対応していない。 映画館の設備投資が必要。



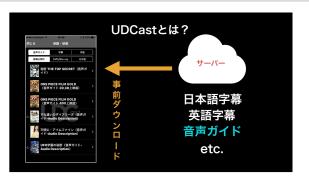
日本の状況

字幕はスクリーンに表示

音声ガイドはFM送信(ラジオで受信)



音声から同期情報。



ポイント

情報保障のデータはクラウド上にあるので、後から追加することも入れ替えもリアルタイムに可能。



携帯電波も無線LANも不要。



発想の転換

メディア側、再生環境に左右されない仕組み。

コンテンツそのものが製作時にバリアフリーになり、そのデータが全てのメディアで使われる仕組み。



3年前は、字幕を携帯端末に表示したが・・・



映画館では使えない。



東京国際映画祭では、メガネ型端末に字幕を表示する実証実験を繰り返した。



視線を動かさず、スクリーンの上(黒い部分が見やすい)で字幕表示。多言語の字幕を切り替えて表示可能。



一般の方への告知も必要。



当事者の感想と期待。



沖縄美ら海水族館の例。



UDCastデモンストレーション スマートフォンをお持ちの方、バーコード、又はアプリストアで「UDCast」検索 してインストールできます。



音声電子透かしが入っています。 お手元のスマートフォンにUDCastが入っていれば、日本語字幕をはじめ、様々な 情報に切替できます。

